

## 第 69 回西日本生理学会

日 時：平成 30 年 10 月 5 日（金）・6 日（土）  
場 所：北九州国際会議場 2 階 国際会議室  
当番幹事：九州歯科大学生理学分野 小野堅太郎  
参 加 者：81 名  
演 題 数：34 題

第 69 回西日本生理学会は、九州歯科大学生理学分野を当番校とし、平成 30 年 10 月 5・6 日の両日において北九州国際会議場 2 階国際会議室にて開催された。台風 25 号が開催日に最接近するとの予報があり、参加できない方がおられるのではないかと不安があった。両日ともに風が強く、交通機関に乱れはあったものの、例年通りの参加者（81 名）があり、演題も滞りなく進めることができた。総演題数は 34 題で、一般演題 27 題、九州奨励賞審査対象演題 3 題、学部学生演題 4 題をすべて口演にて 1 会場で行った。

学会 1 日目の冒頭では、37 歳以下の若手研究者や学生を対象とした「日本生理学会九州奨励賞」の審査セッションを行った。本学会前に行われた評議員会において、例年 2 題を九州奨励賞としていたところを、今回は 3 演題の応募しかなかったことから 1 題のみの受賞とし、将来的な資格審査への移行のために絶対評価にて審査が行われることが決定していた。鷹野教授（久留米大学）を委員長とする 5 名の審査委員の厳正なる審査の結果、永芳友氏（熊本大学大学院生命科学部分子生理学分野）の「X 染色体連鎖性精神遅滞の分子機構解明に関する研究」が受賞となった。大学院 2 年生とは思えない見事な発表であり、研究の内容も緻密で非常に興味深いものであった。その後、一般演題 15 題の発表があり、活発な質疑応答が行われた。その後、総会を開催し、評議員会での決定事項の報告を小野（堅）から、日本生理学会理事会報告を小野（克）教授（大分大学）から、次回西日本生理学会の案内を高宮教授（宮崎大学）から行われた。

総会后、同会場内のイタリアンレストラン「パッソ・デルマーレ」において懇親会を開催した。参加者は約 60 名と盛況で、九州歯科大学の稲永名誉教授の挨拶、産業医科大学の山下名誉教授の乾杯挨拶の後、海を見ながら懇親を深めることができた。ここ数年で生理学系研究室の教授に新しくなられた方に積極的に声をかけて参加を募ったため、その方たちと今後の地方会の在り方や運営方法について話をできたことは大変有意義であった。

2 日目には学部学生演題のセッションを行い、諏訪明日香さん（西九州大学健康栄養学部健康栄養学科）、志手優仁君、上田哲平君、緒方将人君（いずれも大分大学医学部神経生理学講座）の 4 名が素晴らしい発表を行った。質疑応答では、会場からの厳しくも優しい質問、アドバイスがあり、今後もより研究を発展させていく良き動機づけとなったと思う。台風の影響で早く帰宅したい方のために一般演題を一部入れ替えしたものの、一般演題の残り 12 題も無事終了し、活発な議論が行われた。台風 25 号は予報より北に抜けたため、風は強いものの雨は小ぶりであった。とはいえ、列車やバスの運休があり、参加者の方々には帰宅の際にいろいろと御負担をかけることとなった。

会を終えるにあたって、事前の事務処理を一手に引き受けてくれた人見講師、氏原助教、新田研究補助員、当日スタッフとして働いてくれた吉野教授と 5 人の大学院生に感謝するとともに、参加いただいた方々に厚く御礼を申し上げたい。これをもって本学会の最終報告とさせていただきます。

（文責：小野堅太郎）

---

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2） p. 1～p. 11 をご覧ください。